

9 月 September

29 年度 監査報告



区長から審査を付され、9/5 報告



議長には議会への報告を依頼

9/5 区長、議長に監査結果報告をいたしました。この紙面ではその一部を抜粋してお知らせ致します。

一般会計の歳入では

特別区民税は 5 年連続して増加、24 年度と 29 年度の比較では **47 億円余りの増加**で安泰のようですが、東京一極集中対策として国の税財政制度の見直しが進められ、地方消費税交付金は都道府県間の生産基準が見直され、30 年度からは減収が見込まれます。さらに、**受動喫煙対策**の推進に伴う特別区**たばこ税**の減少も予想され、千代田区でも財政運営に大きな影響を及ぼしかねません。区は情報収集に努めるとともに東京都や他区との連携を密にして行動をとって行く必要があると思います。

介護保険特別会計では

第 6 期介護保険事業計画期間において、**高齢者人口**が **295 人増加**しているのに対して、**要介護要支援認定者数**は **14 人の増加**にとどまっています。

区の施策である介護予防事業の成果か？分析をして報告を願いたい。

債権について

私ども監査委員も見落としていたのですが、今回の監査で発見された債権の「決算年度末 現在額」は歳入の「生業資金 貸付金 元利収入」の収入未済額と一致すべきですが、**300 万円余**の差が生じていました。

数十年前からの数字の見直しと思われるが、これから原因を調査し報告願いたい。そして、今後は経常的な債権の管理確認をすべきと考えます。

千代田区議会 議員
千代田区 監査委員

小林やすお

